



子宮頸がんと HPV ワクチン



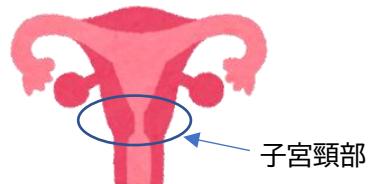
子宮頸がんは、ワクチンで予防できるがんです。

予防接種を受けるとともに、定期的に子宮がん検診を受診し、早期発見・早期治療に努めましょう。

子宮頸がんとは

女性の子宮頸部にできるがんのことです。子宮は、胎児を育てる器官で、子宮頸部は、その入り口部分のことを言います。患者は、20歳代から上昇し40歳代でピークを迎えます。

早期に発見されれば、治療により比較的治癒しやすいがんとされています。



原因は

子宮頸がんの発生には、ヒトパピローマウイルス（HPV）がかかわっていることがわかっています。HPVは性行為を介して感染し、数年～数十年かけて子宮頸がんを発症させます。また、HPVは男女問わず感染する可能性があるウイルスです。HPVが原因で発症する子宮頸がん以外のがんとして、中咽頭がんや陰茎がん、肛門がんなどがあります。



予防は

① HPV ワクチン接種

小学校6年～高校1年相当の女子は、予防接種法に基づく定期接種として、公費によりHPVワクチンを接種することができます。現在、公費で受けられるHPVワクチンは3種類（2価ワクチン（サーバリックス）、4価ワクチン（ガーダシル）、9価ワクチン（シルガード9））あり、ワクチンの種類によって予防できるHPVの種類に違いがあります。どのワクチンでも、一定の間隔をあけて、同じ種類のワクチンを合計2回または3回接種する必要があるため、一般的な接種スケジュールを完了するまで約6か月かかります。

★公費による接種期間が延長されました★

対象者：1997年4月2日～2009年4月1日生まれの女子で、

2022年4月1日～2025年3月31日までにHPVワクチンを1回以上接種した方

期間：2025年3月31日から1年間

② 子宮頸がん検診の定期的な受診

20歳以上の女性は、2年に1回、子宮頸がん検診を受けることが推奨されています。一般的に、子宮頸部の細胞を採取して、細胞に何らかの異常がないか検査する「子宮頸部細胞診」を行います。検診を受けられる場所や費用など、詳細についてはお住まいの市区町村にお問い合わせください。



○保健室からのお知らせ！

楽しく学べるクイズを設定しました(2025年限定ver.です)。ぜひチャレンジしてください。

【大学のアカウント・PWでログインしてください】

[國學院大學 女子学生の皆さんへ 知っておきたい「子宮頸がんワクチン」クイズ\[2025.01改訂\]](#)

<子宮頸がんについて>

公益社団法人 日本産科婦人科学会 HP 子宮頸がん

https://www.jsog.or.jp/modules/diseases/index.php?content_id=10

<HPVワクチンについて>

厚生労働省 HP

[ヒトパピローマウイルス感染症～子宮頸がん（子宮けいがん）とHPVワクチン～ | 厚生労働省](#)